

新指定文化財を紹介します

天然記念物3件
有形文化財1件
を新たに指定

★文化財保護課 ☎ 251186

7月22日に開催された教育委員会において、新たに以下の4件の文化財（天然記念物3件、有形文化財1件）が本庄市指定文化財として指定されました。いずれの文化財も本庄市にとってかけがえのない貴重なものとして未来に伝えていくべきものです。ぜひ一度、見学にお出かけください。

おもいけ

思池のマルバヤナギ

天然記念物



思池親水公園（児玉町児玉）内にある3本のマルバヤナギ（別名：アカメヤナギ）の古木です。

マルバヤナギ

は、湿地を好む性質のため、多くは水辺に自生しますが、扇状地地形の児玉地域では比較的珍しく、湧水池であったかつての思池をしのばせる存在としても貴重なため、天然記念物に指定されました。



しゃそうりん

八幡神社のヤブツバキと社叢林

天然記念物



八幡神社（児玉町児玉）の境内は、多くの樹木で覆われていて、「鎮守の森」となっています。中には、太さが2mにもなるヤブツバキや、太さが3mを超えるケヤキの古木が13本もあります。

これらのケヤキ林は、周辺市街地では貴重な林地として市民にも親しまれているところから、一括して天然記念物に指定されました。



せきじんじんじゃ

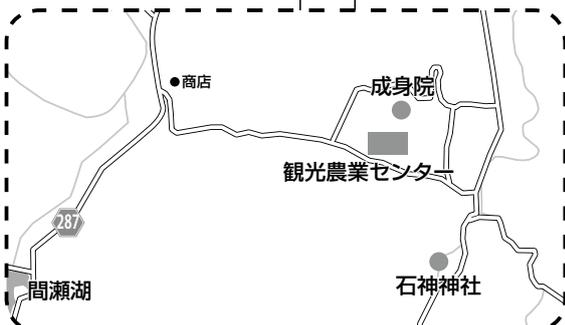
石神神社のケヤキとスギ

天然記念物

石神神社（児玉町小平）の社殿の両脇にある2本の巨木です。

右側にあるケヤキは御神木とされており、太さは5mにもなります。左側にあるスギも大木で、地域の人たちに守られてきた貴重な古木です。

今回、この2本の古木が一括して天然記念物に指定されました。



じょうしんいん

さんぶつ

成身院の三仏

有形文化財
(彫刻)

成身院（児玉町小平）には有名な百体観音堂とともに、三仏堂があります。

この三仏は、阿弥陀如来・釈迦如来・薬師如来の坐像で、いずれも胎内に墨書があります。墨書銘



によると、阿弥陀如来と釈迦如来は応永12年（1405年）に現在の茨城県取手市内で作られたもので、薬師如来は寛正7年（1466年）に児玉町小平で作られたものであることが分かります。

この三仏はいずれも室町時代の作品で、墨書銘がある来歴のはっきりとした優れた作品であるところから、有形文化財（彫刻）に指定されました。

